

# 楓

ふうえん

# 園

特集

大学・大学院・中高部NEWS

## 東洋英和の国際交流

—タイからの留学生を迎えて

NEWS 大学・大学院／小学部／東洋英和幼稚園／大学付属かえで幼稚園 ● 4

「学院資料・村岡花子文庫展示コーナー」開設のお知らせ ● 7

英和の日々 ● 8

学院人事 ● 9

学院NEWS① ● 10

この人に聞く 押川 理佐 ● 11

聖書の言葉／史料室レター／学院NEWS② ● 12

2015年度行事予定 ● 13

英和星空探訪／同窓会より／お知らせ ● 15



大学入学式 ～新マーガレット・クレイグ記念講堂にて



# 東洋英和の国際交流

## タイからの留学生を迎えて

すると、一同は聖霊に満たされ、

“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話しました。

使徒言行録 二章四節



「言語」って難しい?!

ことばの習得と異文化理解で大切なことは

二〇一四年師走、六本木がクリスマスのイルミネーションで美しく輝き始めた頃、高等部と大学に在学中のタイ人留学生を囲む、楽しい企画が実現し、英和での生活にすっかり慣れた三人の留学生、彼女たちと共に学ぶ日本人の若者たち、そしてそれを見守る先生がたの視点から、楽しく活発な意見交換を行いました。

二〇一四年十二月九日、池田明史大  
学学長の声かけのもと、東洋英和の国  
際交流を語るために、高等部と大学か  
ら、国際色豊かでユニークなメンバ  
ーが六本木に集いました。あつという間  
に過ぎてしまった九〇分間の楽しく活  
発な意見交換の一端を、皆様と共有さ  
せていただける機会に感謝いたします。

**学長** 楓園七五号の「多文化世界と  
の出会い」というテーマに続き、本  
日は大学と高等部在籍のタイ人留  
学生にお集まりいただき、日タイ  
間を中心に、さまざまな観点から  
東洋英和の国際交流を考えたいと  
思います。留学経験のある大学生  
と留学を控えた高校生に加え、露木  
高等部長、大学の竹下先生(高大連  
携委員長)、中高校の中島先生(国際  
交流担当)にも来ていただきました。



池田大学学長

まず、チュラロンコーン大学文学部  
日本語専攻三年生のウォンチャン・カ  
ンヤータットさん(通称ダー、ノント

プரி出身)とマークブーン・ピラー  
さん(通称ジャン、イサーン出身)、サー  
ティットマハーウィットタヤーライラ  
チャバットナコーンプラトゥム高校三年  
生のジュンター・ポムラットさん(通  
称オーイ、ナコーンパトム出身)が自己  
紹介し、続いて国際社会学科四年の島  
田梨左さん、国際コミュニケーション  
学科三年の三木奏さんと佐野悠菜さん  
そして高等部一年生の安井日奈子さん  
と池田有花さんが、それぞれ自己紹介  
しました。タイ人は本名とは別の通称  
で互いを認識するので、ここでも、通  
称で話を進めました。まずは、日本語  
を中心にコミュニケーション言語が話  
題になりました。

**学長** ダーさんとジャンさんは、  
日本語の学習歴が長いし、日本語  
を専攻しているからことばにあまり  
り不自由がないでしょうが、オー  
イさんにとって、日本語は難しい  
ですか。

**オーイさん** とても難しいです。  
最初は特に。でもみんなが助けて  
くれました。

**安井さん** オーイさんとは、最初  
の頃はことばの壁があったけれど、  
今はどんな日本語でもだいたい通  
じる(笑)。私は十二月末からアメ  
リカのアイオワ州に留学予定です。



安井さん (高等部1年生)

**池田さん** コミュニケーションに  
は、ジェスチャーと勢いも大切だと  
思う。いま、オーイさんと同じク  
ラスでもとても仲良くやっています。  
**中島先生** 池田さんがオーストラ  
リアに行ってしまうと、オーイさ  
ん、少しさみしくなりますね。日  
本語が上手になってきたのは、週  
に一回、卒業生に英語で日本語を  
教わっている成果ですね。



中島中高校教諭

**高等部長** 私もう思います。特  
に、夏休み以降、すごく日本語が  
上達したと思っていました。

**学長** ことばは伝達の手段だから  
ね。自分に伝えるべきものがあれ  
ば、どんなにたどたどしくても聞い  
てもらえます。安井さんや池田さ  
んがアメリカやオーストラリアに

行っても同じです。いくら発音やアクセントが良くても、流暢な英語でお天気のことばかりしているような人の話は、誰も聞いてくれません。「この人、何か伝えるものがある」と思うと、相手は本当に一生懸命に聞いてくれます。オーイさんの日本語が上達したのも、伝えたいことがあったからでしょう。それが上達のための最大の要因だと思います。ところで、日本語が上手なダーさんとジャンさんにも、こ

とばで困ったことはありましたか。  
**ダーさん** 病院でどんな痛みかと言われたりすると困ります。タイ語には、擬声語や擬音語がほとんどないので、頭ががんがんと痛いかお腹がきりきり痛いかという表現をしないからです。それから、敬語も難しいです、尊敬語や謙譲語など。

**ジャンさん** 日本人の考えがよく分からない時があります。こう言っているけれど、本当はその意味じゃない、というような。それに、日本人は最後まで言わないですよ。例えば、誘いを断るとき「今日はちょっと」と言われて、その続きを待っているのに、ここで終わり。そして「ごめんね」と言われても、戸惑ってしまいます。



ジャンさん (タイ・大学3年生)

**オーイさん** やってはいけないことでも「それはだめ」ってはっきり言ってくれませんか。教えてもら

わないと分からないのに。

**竹下先生** なるほど、異文化間コミュニケーションは難しいですね。ところで、三人ともバンコク周辺からいらっしやいました。タイの首都バンコクは、英語でもBangkokなのだけでも、それは外国人が使う名称ですよ。日本人がタイについて持っている常識を覆す良い例として、バンコクの正式な名前を披露していただけませんか。意味は要するに「すばらしい場所」ということですけれど、長さは世界一ですよ。



竹下国際社会学部教授

**ダーさん** バンコクはタイ語だと短くクルンテープ・プラマハナコーンです。もつと省略するとクルンテープ。でも正式には…

## 留学の狙い…それは何も知らなかったことを知ってショックを受けること

池田学長は、大学の国際コミュニケーション学科に希望者全員留学制度を導入した頃を振り返り、大学生に対して、留学制度の目的や狙いを聞かれました。高等部出身の三木さんは、現在、池田学長ゼミの学生ですが、高等部では中島先生や露木先生にご指導を受けて、大学一年では竹下先生の英語のクラスで学びました。AFS留学生のお世話役のボランティアもやっていますので、オーイさんとも顔見知り、オーストラリアに留学する予定なので、留学の目

**ダーさん、ジャンさん、オーイさんが一緒に** クルンテープ・プラマハナコーン・アモーンラッタナコーシン・マヒンタラーユッタヤー・マハーディロックポップ・ノッパラツト・ラーチャタニーブリーロム・ウドムラーチャニウエートマハーサターン・アモーンピマーン・アワターンサティット・サツカタッティヤウイサヌカムプラシット。



佐野さん (大学3年生)

バンコクの正式名称を聞かれた池田学長の感想は「まるでお経だね」でした。露木高等部長は、若いときに異文化体験をすることがとても貴重なことで、その体験を通じて皆さんが感じたことをどんどん発信してほしいとの期待を述べられました。

的をいろいろと設定しているようです。

国際コミュニケーション学科の留学制度を利用してチュラロンコーン大学に留学した**佐野さん**は、語学の習得というよりは、学生生活のうちに、多くの経験を通じて視野を広げ、次の目標を見つけていくことをめざしていたと語りました。

そして、池田学長は、大学に留学システムを導入したときの一番の狙いを、次のように説明されました。

**学長** 一番大きな狙いは、「ショックを受けて来い」ということ。自分が常識だと思っていたことが実はそうではないということに、異文化体験を通してまずはショックを受けるわけだね、「自分は何か知らない」と。私が学生時代に英国に留学した時も、仕事でいるる南国に行っても、行った先で質問を受けて、実は自分は日本のことを何も知らないということが良くわかった。だから、「自分は日本のことでも留学先のことでも、何も知りませんでした、こんなことで良いのだろうか。」とショックを受けて帰って来てもらいたい。留学しても、そういうショックがなければただの長い観光旅行です。帰国後に、その経験を活かして、次の自分の勉強なり、生き方なりに反映してもらおう。それが最大の狙いです。

**竹下先生** そのとおりですね。ショックが大きいほど、プログラムの成功です。佐野さん、思うようにタイ語が上達しなかったから、日本でタイ語を頑張って勉強しているでしょ。島田さんも、タイ旅行の間、まるで日本代表みたいに質問攻めに遭いましたよね。そういう経験を活かしてどんどん成長していくんです。

すると、池田学長の狙いどおりのショック体験談が、いろいろと飛び出してきました。

**島田さん** 私は数日間のタイ旅行でしたが、タクシー代などのぼったくりはショックでした。日本では外国人だから物を高く売りつけようという発想はないでしょう。

バンコクの発展した町並み、高いビルもたくさんあって、大音量でBGMが流れていて、原宿や渋谷みたいだと感じました。てっきりバイク社会だと思っていたので、電車にも驚きました。次々と電車が来て、ホームも車両も現代的で感動しました。車内の液晶はテレビ広告までやっていて、乗っている間、全く飽きませんでした。実際に自分の目で見るのが重要だと実感しました。



島田さん (大学4年生)

**三木さん** 私は高等部の時、露木先生と相談してチリへの留学を決めました。私はずっと東京に住んでいたのに、チリの留学先が首都サンティアゴからバスで一八時間の田舎だったので、日本とチリの違いに加え、都心と地方の差もあり、二重の意味で異文化でした。車がないとどこも行かれません、時間がゆったり流れる場所で、自分を見つめ直したり、日本の良さに気付いたりという時間はすごく良かったと思います。



三木さん (大学3年生)

**中島先生** オーイさんが、夏休みの歴史の宿題で浅草へ行き、レ



池田さん (高等部1年生)

留学生も、日本で驚いたことを聞かせてくれました。ジャンさんもダーさんも、日本のラッシュアワーの電車を体験してびっくりしたそうです。タイでは、この電車に乗れなくても次に乗ればいい、という余裕があるけれど、日本の通勤事情はまったく違います。日本の時間の正確さはいいことですが、時にはきつと感じるそうです。また、順番待ちで並ぶ日本人にもびっくり！タイ人は行列を見たらすぐにあきらめてしまいます。

食べ物にも話が及びました。オーイさんは日本のカレーが好きですが、ジャンさんとダーさんは苦手。一口にカレーと言っても、タイカレーと日本のカレーは別物なんですね。そしてタイ人にとって、全くわさびは「辛い」ものではなくて、単に鼻への刺激物だそうです。

**竹下先生** 留学生が英和に来てくれることにより、日本国内でも異文化体験が可能だと思えます。オーイさんがいることによって、高等部にはどのような変化や発見がありましたか。

**池田さん** 情報の時間にパワーポイントの授業があつて、オーイさんがパワーポイントでタイのことを発表しました。これから、全クラスの生徒が聞く機会もあるので、タイ理解に大きな影響があるんじゃないかと思えます。

**学長** 日本の外に出たり、留学生と一緒に生活する、つまり異文化に触れるということは、他文化の人が勝手に作り上げたイメージ、つまりステレオタイプを、自分が直接見て体験することにより、まづ壊す。壊した後には、また別のイメージを作り上げ、それもまた実は違うことを知って、また壊す。この繰り返しの中で、ものの見方、考え方がどんどん深まっています。だから、常に作る努力と壊す努力をしていくことが、結局、視



露木高等部長

野を広げ、ものを深く掘りさげて考えることにつながっていく。留

**高等部長** 私もオーイさんの歴史のレポートを拝見して感心しました。字が丁寧に書かれていたことも印象に残っていますが、私たちが日本人が意識せずに通り過ぎてしまふ事柄に目を留めて理由を考えているところが、新鮮な視点だと気づかされました。高校生や大学生が言語も文化も歴史も異なる背景をもつ人と同じ空間で過ごすことは、大変貴重で意味のある経験だと思えます。

**ジャンさん** 高校生の時に初めて日本に来ましたが、全く日本語が



ダーさん (タイ・大学3年生)

で、子どもの頃から日本語を話せるのが、子どもが大好きでした。あとは、タイでは日本語の家庭教師をやっていました。でも、日本に行ったことがなかったため、自分の目で見ていろいろと経験したかったです。

野をを広げ、ものを深く掘りさげて考えることにつながっていく。留

**東洋英和への留学を活かして、目指す将来は？**

野をを広げ、ものを深く掘りさげて考えることにつながっていく。留

池田学長は三人に対して、日本留学の経験を将来、どのように活かしたいと願っているか、質問されました。三人三様の興味深い将来構想があるようです。

**ジャンさんは**、日本でタイ語を教えるという楽しい経験をしたので、今後もタイに興味をもっている日本人にタイ語を教えたいと強く願っています。

**ダーさんは**、お父様が経営する会社を継ぐ予定ですが、取引先はタイの日系企業なので、仕事のなかで日本留学の経験を活かすつもりだそうです。オーイさんは、これから大学進学を控えています。大学では日本語の学習を続けながら、経営学を学びたいと考えています。大学卒業後の進路はまだわかりませんが、日本語を活かしてタイで働きたいそうです。

最後に、池田学長から、出席者全員に温かい感謝のこぼれがありました。



オーイさん (タイ・高校3年生)

『ワンピース』を通じて日本語に興味をもって、一年ほど勉強したけれど、もっと日本語が上手になりたいだったので、留学を決めました。AFSで東洋英和に行くことが決まって、未体験の女子校だということでも少し心配していましたが、来てみたら楽しかったです。



**学長** 留学生の皆さん、活躍を期待しています。英和の在校生、在学生の皆さん、これからもたくさん

誰が、いつ、どこで、何を必要としているかを知るためには、異文化経験を重ねることが有効だと思います。今日は有り難うございました。

座談会後、タイ人留学生のジャンさん、ダーさん、オーイさんの三人は、近いうちに再会することを約束して帰路につきました。英和のキャンパスに生まれたタイと日本のパイプ、それがますます長く太くなって、英和の国際交流と異文化理解がさらに進むことを願っています。



## 東洋英和女学院大学 開学二五周年記念行事

二〇一五年二月一七日（火）東洋英和女学院大学・横浜校地の礼拝堂にて、開学二五周年記念行事を挙行了しました。新名誉学長・新名誉教授、近隣の皆様、学院関係者、同窓会関係者、後援会関係者、旧現教職員、学生など大勢の皆様にご出席いただきました。



式次第	
1. 開学25周年記念礼拝	午後1時～午後1時30分
司会 事務部長 雨宮 美和子 奏楽 学院オルガニスト 河野 和雄	
前奏	
讃美歌 讃美歌21 412番「昔主イエスの」	
聖書 マルコによる福音書 12章28節～31節	吉岡 良昌 宗教主任
祈祷	池田 明史 学長
式辞	深町 正信 院長
祝辞 讃美歌21 27番「父・子・聖霊の」	三上 章 宗教主任
祝辞	
後奏	
校歌	
2. 名誉学長・名誉教授称号贈呈式	午後1時30分～午後1時50分
司会 国際社会学部長 望月 敏弘 挨拶 学長 池田 明史	
3. 来賓紹介	
4. 開学25周年記念パネルディスカッション	午後2時～午後3時50分
テーマ：「四半世紀」の意味するもの	司会 学長 池田 明史
① 発題	午後2時～午後2時50分
「この25年の科学・技術の発展は人類史にとって何を意味するか」	村上 陽一郎（学院学事顧問）
「この25年は、国際関係史において何をどのように変えたか」	津守 滋（名誉教授）
「日本の社会は、この25年で如何なる変遷を遂げたか」	早瀬 圭一（名誉教授）
「この25年で、日本人の消費行動はどう変わったか」	鮎戸 弘（名誉学長）
「東洋英和女学院大学にとっての25年」	林 文（名誉教授）
② パネルディスカッション	午後2時50分～午後3時50分
パネリスト 上記発題者5名	
モデレーター 学長 池田 明史	
5. 茶集会	午後4時～午後4時30分
於 中央館 食堂	司会 杉崎 壽

当日のプログラムは、まず始めに「開学二五周年記念礼拝」を執り行い、続いて「名誉学長・名誉教授称号贈呈式」にて、四名の先生方に称号記の贈呈を行いました。休憩を挟み「開学二五周年記念パネルディスカッション」（テーマ：「四半世紀」の意味するもの）を実施しました。モデレーターを池田学長に、パネリストとして、前学長で現在は学院学事顧問の村上陽一郎先生、新名誉学長・新名誉教授四名の先生方が登壇しました。その後、場所を中央館食堂に移し、和やかな「茶集会」が催され、盛況のうちに閉会いたしました。また、当日は学生自治会清楓会執行部の学生が受付構内誘導、ご来賓のご案内担当として行事運営に携わりました。



開学25周年記念礼拝



式辞：池田明史 大学学長



祝辞：深町正信 院長



受付を担当した清楓会執行部の学生

<名誉学長・名誉教授称号贈呈式>



鮎戸弘 新名誉学長



林文 新名誉教授



早瀬圭一 新名誉教授



津守滋 新名誉教授



開学25周年記念パネルディスカッション

# 韓国・梨花女子大学附属初等学校 (Ewha) との交流

二〇一五年一月一四日・一五日の両日、姉妹校である韓国の梨花女子大学附属初等学校（以下・Ewha）から児童十一名・教員三名のみなさんが小学部にいらっしやいました。交流のきっかけは、お互いの大学同士が交流をもっていたことです。小学部では、二〇〇三年の秋から英語科による六年生の英語の文通がスタートしました。今では五年生後期から英語の文通が開始されるようになり、二〇〇七、八、九年はEwhaの方を小学部でお迎えして、二〇一〇年三月には初めて小学部生がEwhaを訪問しました。二〇一三年一月にEwha生をお迎えした時からホームステイがプログラムに

加わり、以後隔年でお互いの学校を訪問した際には欠かせないものとなっていました。二〇一四年三月には正式な姉妹校関係が締結され、名実共にお互いの絆が深まりました。

今回はEwhaの方をお迎えするにあたって、五年生が主となり、「全校での歓迎会」、「五年生による交流会」、「学校案内」、「日舞・茶道・伝承遊び・紙すきの体験」、「ホームステイ」を企画しました。また、子どもたちはそれぞれの分担の準備に加え、事前学習として日本文化と韓国文化を学びました。当日は英語でのコミュニケーションに四苦八苦しながらも、笑顔が絶えない素敵な時間となりました。

今回はEwhaの方をお迎えするにあたって、五年生が主となり、「全校での歓迎会」、「五年生による交流会」、「学校案内」、「日舞・茶道・伝承遊び・紙すきの体験」、「ホームステイ」を企画しました。また、子どもたちはそれぞれの分担の準備に加え、事前学習として日本文化と韓国文化を学びました。当日は英語でのコミュニケーションに四苦八苦しながらも、笑顔が絶えない素敵な時間となりました。



一緒にテーブルを囲んで



茶道体験

（児童の作文より）（抜粋）

一月一四日に、梨花女子大学附属初等学校の十一人の方をお迎えしました。今年私は五年生なので、他の学年よりもたくさんさんの場面でEwhaの方と接しました。

私は茶道のお部屋を担当したので、前日と当日の二、三時間目に練習をしました。ずっと、お茶を入れたお椀を運ぶ練習をしていました。運ぶのは簡単でしたが、相手が喜んでくれるようにしたかったので、集中して練習に取り組みました。心をこめてお椀を渡そうと思います。

（中略）

お給食が終わったら、体育館に行つて五年生とEwhaの方で遊びました。まず初めに私たちが、しの笛とリコーダーの発表をしました。今までで一番上手にふけたと思います。Ewhaの方たちも拍手してくれましたので、うれしかったです、ほっとしました。

それから英語の英和の校歌を歌つて、日舞の練習をしたお友だちの発表がありました。「さくらさくら」をおどっていました。とても素敵で美しいおどりだったと思います。Ewhaの方もすごいなというお顔で見ていたような気がしたので、ほこらしい気分になりました。

その後ゲームをして遊びました。いつも一緒に遊ばない子や、Ewhaの方ともたくさん遊べて楽しかったし、おもしろかったです。Ewhaの方も楽しく遊べていたらいいな、と思つています。

そして、みんなで集合写真をとつて、各担当のお部屋に行きました。私は茶道の担当だったので、家庭科室に行きました。

全部で三回、お客様がいらっしやいま

した。一回目は、初めて本当のお客様にお椀を運んだので、ものすごく緊張していました。お椀を持った手がぶるぶるとふるえていて、「Please drink the tea」と言う時も、緊張して小さな声でしか言えませんでした。次はもっと大きな声で言えるといいな、と思いました。

二回目は、一回目よりもどきどきしていなかったため、大きな声できちんと言えたり、お椀もていねいに運べました。次が最後だから、もつとがんばろう、と強く思いました。もう全ての力をふりしぼつて、ていねいに接しました。そうしたら、「Please drink the tea」と今までで一番きちんとした声で言えました。三回目が終わったしゅん間ほつとして、自分の役目をはたした気分になりました。

Ewhaの方と楽しい時間をたくさん過ごせて、本当に幸せな一日でした。また会いたいし、韓国にも行ってみたいくなりました。こうしてEwhaと英和の友情がどんどん深まつていくといいな、と思つています。



全員で記念撮影

# 幼稚園創立一〇〇周年 ホームカミング

二〇一五年一月一日(土)、東洋英和幼稚園創立一〇〇周年記念のホームカミングが九〇〇人を超える方々と共に行われました。すべての卒業生と保護者を対象としましたが、参加人数も皆目見当もつかない状態で、教職員だけでは手が回らず、卒業した小学部、中高部のお母さま方に声をかけました。皆さん快くお手伝いを引き受け、役割分担し、在校生だけでも参加者の目安をつけるよう連絡していただきました。すると、子どもと保護者合わせて五〇〇人が出席との返事でした。それ以上の年代の方々を含め一〇〇〇人規模のホームカミングを計画し、増改修工事をした新しい幼稚園のお披露目を兼ねた大同窓会」というイメージで準備を進めました。

当日は穏やかな天気の中、園舎、園庭は小学生から九〇歳代まで、大勢の人で埋め尽くされました。玄関を入りホールはお茶コーナー。保育室は、幼稚園の使用済み用品(英和の湯呑・マグカップ・写真など)をご自由にお持ち帰りいただくコーナーを設け、お母さま方の発案から献金箱が置かれ、心のこもった献金をいただきました。布の絵本の展示、写真やアルバム、古い印刷物や新園舎の模型の展示、新園舎は子ども遊び場として、カプラなどの積み木

と織物コーナーが用意されました。お辞めになった懐かしい先生方も多数来園くださり、賑やかなホームカミングとなりました。あちらこちらから笑顔が溢れる時となりました。最後に元園長丹羽先生、前園長大伴先生たちと共にホールに集い、新しくできた『東洋英和幼稚園一〇〇周年のうた』を歌い閉会となりました。神さまに見守られ、多くの卒業生とご家族の支えがあり、今日の幼稚園があることに心から感謝申し上げます。



最後はホールに集いました

## お父さま、お母さまと 子育てを語り合う時

### 子育てを語り合う時

かえで幼稚園では創立以来、ご家庭と幼稚園が両輪となって子どもを育む関係となる歩み寄りをしてきました。このことは時代が変わっていく中にあることも大切にしていきたいことです。学年毎にもつ保護者会の他に、リディア会(聖書のみことばを通して子育てや人生について考える時)、講演会などで保護者の方と子どものこと、幼児期に大切にしたいことを確認し合います。それに加えて毎月一回、お母さま同士が子育てのことをおしゃべりする会、『ぶどうの木』があります。(二〇一三年までは『こひつじの会』という名称で申し込み制の会でした)『ぶどうの木』では有志のお母さま方が集まり、その時のテーマをきっかけとしておしゃべりをします。例えば「食卓をめぐる喜びや悩み」「子どもの友だち関係について」「母親の役割、父親の役割」：など

二〇一五年二月には、『お父さまのぶどうの木』を開きました。これまでお父さま向けの講演会などは催したことがありませんでしたし、ワークの日で共に働き合うこともありませんでしたがお父さまが子育てについて語り合う会は初めてでした。約三〇名のお父さまが四、五名ずつのグループに分かれ、コーヒを飲みながら、なごやかに子どもをめぐることを語り合いました。あるグループはご自身の楽しかった遊びのことから今の子どもたちの生活についてを。あるグループでは父親としてどのように何を伝えるかということをお話されていました。その日の別れ際には「また参加したい」「すぐくおもしろかったです」という声が聞かれました。二〇一五年度、神さまに寄り頼みながら保護者の方と共に子どもの『子どもの時』を支えていきます。



子育てについて語り合うお母さま

です。副園長はコーディネーターの役割をとりながら、お母さまの中から子育ての鍵を一つでも持ち帰ることがあればと思いい、そこに居て共に過ごします。



『お父さまのぶどうの木』

# 「学院資料・村岡花子文庫展示コーナー」

## 開設のお知らせ

本部・大学院棟一階ロビーに、「赤毛のアン記念館・村岡花子文庫」からの寄贈を受けて、新しく「学院資料・村岡花子文庫展示コーナー」を開設しました。



昨年の今頃は、皆様NHKの連続テレビ小説「花子とアン」を楽しんでいたのではないでしょう

か。主人公の村岡花子は卒業生（一九一三年東洋英和女学校高等科卒業）で「赤毛のアン」を翻訳し、

翻訳家、児童文学者、随筆家として、また教育や婦人問題に取り組んだ評論家としても有名です。「赤毛のアン記念館・村岡花子文庫」

は、お住まいのあった大田区大森に、長女であるみどりさんが「村岡花子の著作物や蔵書の保存につとめるとともに、多くの方々に明治〜大正〜昭和と、理想をもって生き抜いた女性がいたことを知っていただきたい」と、花子晩年の書斎を再現して開設したものです。

みどりさんが亡くなられてからはお孫さんである村岡美枝、恵理姉妹が引き継がれていました。

今年の三月末、村岡家のご厚意で「赤毛のアン記念館・村岡花子文庫」所蔵の村岡花子の蔵書や書簡類、原稿、身の回りの品や書斎

の家具などが本学院に寄贈されました。蔵書には翻訳の時に使用したであろう英語の辞書や、常に座右にあつた聖書、ご本人の著作、愛読書、多くの洋書などがあり、

村岡花子の知性が培われた土台を目の当たりにすることができます。東洋英和で学んだことを活かし、同窓会の役員や学院理事として生涯母校のために尽くされた村岡花子の資料をご寄贈いただいたことは、学院として光栄であります。同時に今まで大切に資料を伝えてこられた村岡家の方々の思いを継承して今後有用に活用し、かつきちんと保管していかなければ、とその責任を重く受け止めています。そして、皆様にも広く村岡花子の偉大な業績に触れていただくべく、学院創立一三〇周年事業の一環として、本部・大学院棟一階ロビーの展示コーナーを三月に全面改装し、名称も新たに「学院資料・村岡花子文庫展示コーナー」として、四月より公開の運びとなりました。

従来からの展示設備を一部変更し、奥は村岡花子の書斎をイメージしています。ミス・カートメル

の資料も、トランクの横に展示品を追加しました。これからは手前の学院関係部分と、奥の村岡花子文庫と、どちらも常設展示と特別展示を並行開催していく予定です。

昨年各地で村岡花子展が開催されましたが、山梨県立文学館が約三万五千人、教文館が約一万五千人、弥生美術館が約三万人、デパートなどの巡回展では全国で一九万人の方が訪れたとこの国です。混雑のためゆっくり見られずに残念な思いをされた方も多かったとうかがっています。オートタシマ

の展示資料や映像資料をお借りした展示も行っています。ご予約

くりご鑑賞ください。

オートタシマは四月一四日に行われました。その模様

や村岡花子文庫の移設に関する詳細は次号（九月）でお知らせいたします。



村岡花子文庫展示コーナー



学院資料展示コーナー

# 英和の日々

2014年12月～2015年3月

## 東洋英和幼稚園



父と子の遠足

- 始業礼拝 1月7日(水)
- 幼稚園創立100周年 ホームカミング 1月10日(土)
- 九〇〇名以上の方が幼稚園に戻ってきてくださいました。
- 父と子の遠足 2月7日(土)
- 五歳児がお父さまと那須塩原に出かけ、晴天の中、雪遊びを楽しみました。
- 日舞を観る会 2月23日(月)
- 邦楽器の伴奏で園児が「英和音頭ー〇〇周年バージョン」を踊り、また「手習い子」の踊りを見せていただきました。
- 第101回保育証書授与式 3月19日(木)
- 三九名の子どもたちが在園児、ご家族、お客様に見守られ、保育証書をいただきました。

## 大学付属 かえで幼稚園



砂場で穴掘り (父親参加)

- クリスマス礼拝 三歳児クリスマス礼拝 (十二月一六日) 四歳児・五歳児クリスマス礼拝 (二七日・一八日)。
- 他に未就園児、小中高生もクリスマス礼拝を守りました。
- 4歳児父親参加 2月7日(土)
- 子どもたちが好きになっている遊びをお父さまといっしょに楽しみました。
- 保育証書授与式 3月18日(水)
- 神さまの祝福を受けて五七名の子どもたちが聖書と黄水仙を胸に幼稚園を巣立っていきましました。ごいっしょに幼稚園の時を過ごしたご家族と共に子どもたちの成長を感謝する時でした。

## 小 学 部



クリスマス礼拝

- クリスマス礼拝 12月18日(木)
- 全校児童でクリスマスの福音を分かち合いました。聖歌隊、エンジェルリンガーズなど四・五・六年生児童を中心にたくさんの児童が奉仕してくれました。
- マグノリアコンサート 1月30日(金)
- 子どもが歌うオペラでは、「チエネレントラ」が上演されました。音楽に包まれた素敵な一日でした。
- 卒業式 3月17日(火)
- 小学部を巣立つ卒業生を全校児童、教職員一同でお祝いし、送り出しました。心温まる式となりました。

## 中 高 部



YWCA クリスマスカンドルサービス

- 中学部鑑賞行事 12月8日(月)
- ロンドンアンサンブルのクラシックコンサート。
- YWCA キャンドルサービス 12月12日(金)
- 五十嵐成見牧師(花小金井教会)をお迎えして、キャンドルの灯のもと「あなたのためのメリークリスマス」と題したお話を伺いました。
- クリスマス礼拝 12月19日(金)
- 中学部は礼拝後に聖誕劇を演じ、高等部は八木浩史牧師(奥沢教会)から「真実の愛」と題したお話を伺いました。
- 高等部卒業式 3月18日(水)

## 大 学・大 学 院



大学 卒業式

- 【大学】 クリスマス礼拝 12月15日(月)
- 説教者は深町正信院長でした。参加者と聖歌隊による賛美、ハンドベル、オーケストラの演奏により、イエス・キリストの降誕を祝いました。
- 開学25周年記念行事 2月17日(火)
- 卒業式 3月10日(火)
- 四年間の学びを終えた学生は学位記と黄水仙を手に、それぞれの次なる世界へと船出していきました。
- 【大学院】 修了式 3月14日(土)
- 二〇名の修了生の新たな門出を祝福しました。

## 子どもの本の作家

おしかわ りさ  
押川 理佐さん1989年 高等部卒業  
1993年 大学卒業

## 隠し階段の先にあるもの

東洋英和の中高部、大学人文学部を卒業後、作家として多くの子どもたちに、感動と希望を与え続けている押川さん。その芸術的感性を養われた東洋英和時代のドキドキするような経験や、子どもの本の作家になって感じたことを語っていただきました。

## 秘密の隠し階段

英和には中学から一〇年お世話になった。入試では四教科になったばかりで、理科社会の問題が予想外に易しく、「今の総理大臣は誰」という問いに、( )さんと、答えのスペースがあり、ひっかけか!?とドキドキしながら「中曽根」と書いたのを今でも覚えている。何とか滑りこめたのは、この問題のおかげである。

入学式では、大講堂の上手のドアの間から細い古い階段がちらちら覗いているのが見え、それがいかにも秘密めいていて、あそこは何だろう、登ってみたいと思った。後に演劇部に入り、あれは楽屋へ行く通路だと知るのだが、中高の校舎は一〇〇年の歴史と迷路のような構造のためか隠し部屋伝説や抜け道伝説などに事欠かず、そんな魅惑の場所で十代を過ごせたのは実に貴重な体験だった。

大学はちょうど一期生で、何も無いところから皆で学生組織を作り、クラブを作り、一から村を作っていくような楽しさがあった。設備の揃わない不便さより、開墾していく面白さの方が勝る毎日だった。

## 楽園の外へ……

卒業後、私は小劇団に属したり、

舞踊や長唄のお師匠さんに弟子入りしたり、出版社や保育園、シンクタンク、花屋に歯医者にも舞台照明と、興味に向くまま脈絡なくあらゆる職場を覗いてまわった。同時に英和時代の友人と創刊した文芸同人誌に創作を発表し続け、それがきっかけで子どもの本の書き手になった。

学校の外の世界をうろろしてわかったのは、自分がいた英和という場所は安全な楽園だったということ。そして、似た背景を持つ同世代ばかりという環境でありながら、実は多様な価値観に対する非常に前向きな許容力が培われていたのだということ。これは一面的な価値観での競争を強いられることがなかったためだろうが、これこそは英和の校風の最大の美点だと私は思う。

## 子どもの本の作家になって

私は絵本の読み聞かせが好きで、若い読者と交流する機会を楽しみに



石巻で読み聞かせ中、小さい読者が飛び入りでお手伝い

しているのだが、子どものお話への渴望は大人の想像を遥かに上まわる。どの子どもの中に鍵のかかった隠し部屋や、登ってみたい秘密の隠し階段があるのだ。その階段の先にある何かを一冊のお話にまとめて読んで貰う。それが今の仕事の核だと思つてせつせと原稿と向き合っている。

また、子どもの中には今の環境に希望を失っていたり、反対に大人の押しつける価値観に健気に沿おうとしている子どももいる。そんな子どもたちといつとき過ぎただけで自分ができることは非常に少ない。

だがもしかしら一つのお話が、その子が心中の隠し部屋に気づくきっかけになるかもしれない。孤独だった緊張の中にいるこの子の心に、不思議な扉の間が開いて、一瞬でも光がさしたらいいなど日々思う。

また創作についていえば、お話の設定が突飛であればあるほど実は細部の真実味が必要で、これは子どもの本には特に重要だと私は思う。そのためには世の中を視点を変えながら観察する力が必要で、すなわち自分と異なる世代、文化の人の気持ちで生きてみる必要がある。ここで英和で培った多様性への許容力が、めきつと生きてくるのである。

## ふんわり、そして、ぼわーんと

こうした許容力は、不寛容さが目立つ今の日本ではもはや貴重なものとなりつつある。ぜひ在校生の皆様にはその辺を大事に、とはいえ在校生中は別段そこにありがたみを感じたりもしないだろうから(そこがまた在校生のよさでもあり)、まあ、ぼわーんと、ふんわりと享受して、後にぼわーんと思いついていただけたらそれでいいと思うのである。



福島幼稚園で読み聞かせ

■おしかわ りさ/子どもの本の作家。文芸同人誌「泳げ!」主宰。中学から大学まで東洋英和で過ごす。著書に絵本「ねこまるせんせいのおつきみ」「ねこまるせんせいとせつぶん」(世界文化社)、「すすめ! キケンせいぶつ スカンピーのドラゴンたいじ!」(学研)他。スカンピーシリーズの2巻が夏に刊行予定。「およぶろ」<http://oyogel.blog.fc2.com/>

# 聖書の言葉

しかし、今は神を知っている、  
いや、むしろ神から知られている

ガラテヤの信徒への手紙四章九節

個人の生活にも、社会生活にも「逆戻り」が生じるときがあります。ガラテヤの人々が福音信仰から律法主義へと傾いたとき、それはかつて異教の神々に隷属していた状態への逆戻りではないかとパウロは警告しました。そして語ったのが、「しかし、今は神を知っている、いや、むしろ神から知られている」でした。キリスト教信仰では、私たち自身が信じているのが根本ではありません。「いや、むしろ神から知られている」という福音的な事実が根本です。キリストの贖いによつて、私たちは神から知られています。キリストにあつて神から知られ、もはや奴隷でなく子とされています。「神から知られている」とき、私たちに後戻りはありません。神を知る本当の人生を前に向かつて進むばかりです。



大学チャペル

前東京神学大学学長  
東洋英和女学院評議員  
近藤 勝彦

## 学院 NEWS ②

### 学院「校歌」の楽譜の改訂・発刊と CD作成について

校歌の「楽譜」に関して編集上の改訂を行う事になりました。これは卒業生（一九六〇年卒）の御指摘（一九三四年の山田耕筈の原譜と、一九五六年頃音楽科教諭富岡正男が中高生の唄い易さを考慮し「作曲者の了解を得て」、調を変えるなどの変更を加えた現在使用の楽譜が存在する）を参考に、深町院長が設置した「校歌検討会」の結論によるものです。新編

集の楽譜では歴史的順序に従い、山田耕筈の原譜（歌詞は生徒用に現代仮名遣いに直す）と、現在使用の楽譜を併せ掲載します。また同時に中高合唱部による原譜と現在の楽譜の、各歌唱をCDに収録し、併せて英和幼稚園の「おともだち」、小学部の「東洋英和の歌」、東洋英和女学院大学歌」も収録することになりました。



今号は「おたよりコーナー TOYO Wa-Wa」はお休みさせていただきます。

●お便りお待ちしております！●

〒106-8507 港区六本木5-14-40 東洋英和女学院法人事務局総務企画部総務課 まで  
E-mail:koho@toyoeiwa.ac.jp でもお待ちしております。



## 史料室レター

No.16

### カナダ・ノバスコシアから届いたアルバム



ミス・ストラザードのアルバムから  
(中央にミス・ストラザード、後ろの建物は東島居坂町二番地  
にあった東洋英和幼稚園。1930年代)

昨年、カナダ在住の未知の方（一さん）から学院あてに、アルバムを預かっていて、そこにはTOYO E-WAと添え書きがあり、宣教師らしい方と日本人女学生がたくさん写っているのだが…という問い合わせがありました。そして、ガレージセールに出ていたというそのアルバムをご持参くださいました。それは村岡花子さんと親しかった宣教師のミス・ストラザードのアルバムでした！一さんはカナダで「花子とアン」を視聴されていたので、花子さんとの関係に驚かれました。アルバムが今英和に届けられたとは、まさに奇跡のような出来事といえます。

史料室連絡先 ● TEL:03-3583-3166 FAX:03-3583-3329  
E-mail:archive@toyoeiwa.ac.jp

## 小学部

4月	7日(火) 始業式 9日(木) 入学式 24日(金) 春の遠足 * 春の健康診断
5月	9日(土) 学校説明会① 12日(火) 授業参観日 23日(土) 運動会 27日(水) ペンテコステ礼拝
6月	11日(木) 学校説明会② 27日(土) 土曜参観日
7月	夏期学校〔軽井沢追分〕 1日(水) オープンスクール 15日(水)～17日(金) 1年1組 17日(金)～19日(日) 1年2組 20日(月・祝)～22日(水) 2年1組、6年1組 22日(水)～24日(金) 2年2組、6年2組 24日(金)～26日(日) 3年1組・2組 27日(月)～29日(水) 4年1組・2組 29日(水)～8月1日(土) 5年1組・2組
9月	4日(金) コース別集団下校訓練 10日(木) 入試説明会 15日(火)～18日(金) 6年修学旅行 30日(水) 秋の遠足(1～5年)
10月	1日(木) 追悼記念日礼拝 5日(月)～7日(水) 球技会週 9日(金) 前期終業式 13日(火) 後期始業式 22日(木) 児童引取り・徒歩帰宅訓練 * 秋の健康診断
11月	2日(月) 入学考査 6日(金) 学院創立記念日 学院創立記念日礼拝 27日(金) 学芸会 30日(月) アドヴェントを迎える会
12月	12日(土) むかえようクリスマス 18日(金) クリスマス礼拝
1月	30日(土) マグノリアコンサート
2月	11日(木・祝)、12日(金) 美術展 親子討論会 きらきらコンサート 18日(木) 授業参観日 23日(火)～26日(金) クラブ発表週
3月	16日(水) 卒業式 17日(木) 修業式

## 東洋英和幼稚園

4月	8日(水) 始業礼拝 10日(金) 入園式 28日(火) 歓迎会 * 春の健康診断
5月	9日(土) 父母の会 29日(金) 母と子の遠足 * はみがき指導
6月	19日(金) いちようの木献金セール
7月	8日(水)～10日(金) キャンプ(5歳児)〔軽井沢追分〕 15日(水) 終業礼拝 18日(土) 入園説明会①
9月	3日(木) 入園説明会② 7日(月) 始業礼拝 19日(土) 父と遊ぶ日
10月	1日(木) 追悼記念日礼拝 2日(金) 祖父母の会 26日(月)～28日(水) 入園考査 * 秋の健康診断
11月	6日(金) 学院創立記念日 学院創立記念日礼拝 13日(金) りんご園遠足(5歳児)〔長野県上田市〕
12月	9日(水) 母の会アドヴェント礼拝 15日(火) アドヴェント終業礼拝(3歳児) 16日(水) アドヴェント終業礼拝(4・5歳児)
1月	12日(火) 始業礼拝 * おもちつき * ACEF訪問(5歳児)
2月	11日(木・祝) 父と子の遠足(5歳児)〔那須塩原〕 * 日本舞踊を観る会
3月	7日(月) 課外ピアノ科おさらい会 9日(水) 課外日舞おさらい会 * お別れ会 14日(月) 終業礼拝 15日(火) 卒業式

## 大学付属 かえで幼稚園

4月	6日(月) 小学生・中高生イースター礼拝 7日(火) 始業礼拝(進級児) 8日(水) 新入園児始業 10日(金) 入園式 23日(木) 園外保育(4歳児) 29日(水・祝) ワークI
5月	11日(月) 母の日礼拝 12日(火) 園外保育(5歳児) 28日(木) 健康診断 園外保育(3歳児)
6月	18日(木) 歯科健診 22日(月)、29日(月) 親と子の集い(4歳児)
7月	15日(水) 終業礼拝(4、5歳児) たのしみ会(3歳児) 16日(木) 夕涼み会(4、5歳児)
8月	27日(木)～9月1日(火) 夏期保育
9月	2日(水)～4日(金) 軽井沢追分キャンプ(5歳児) 10日(木) 始業礼拝(3、4、5歳児) 9月入園式(3歳児) 26日(土) 入園説明会①
10月	1日(木) 追悼記念日礼拝 3日(土) ワークII 17日(土) ファミリーデー(4、5歳児)〔大学校地〕 19日(月) オープンデー(3歳児) 21日(水) 入園説明会② 28日(水) 芋ほり(4、5歳児)
11月	2日(月) 入園願書受付 5日(木) 学院創立記念日礼拝・音楽会 6日(金) 学院創立記念日(休園) 14日(土) ワークIII 24日(火) アドヴェント礼拝I 30日(月) アドヴェント礼拝II
12月	7日(月) アドヴェント礼拝III 15日(火) クリスマス礼拝(3歳児) 16日(水)、17日(木) クリスマス礼拝(4、5歳児) 19日(土) 小学生・中高生クリスマス礼拝
1月	8日(金) 始業礼拝(3、4、5歳児) * 教会訪問(5歳児)
2月	6日(土) 父親保育参加(4歳児) 27日(土) 人形劇 * 小学校訪問(5歳児)
3月	3日(木) 卒業遠足(5歳児) * 園外保育(4歳児) 16日(水) 終業礼拝(3、4歳児) お別れ会 17日(木) 卒業式 28日(月) 小学生・中高生イースター礼拝

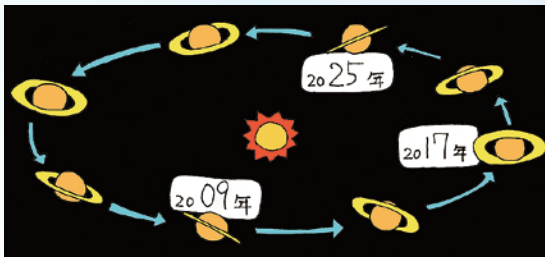
\*印は日程が未定(2015年3月31日現在)

大学院	
4月	4日(土) 入学式・オリエンテーション 25日(土) 健康診断
5月	16日(土) 入試説明・相談会
7月	4日(土) 休講 人間科学領域・幼児教育コース・ 国際協力研究科修士課程 2015年度後期入試 11日(土) 入試説明・相談会
9月	5日(土) 臨床心理学領域修士課程 2016年度前期(秋季)一次入試 国際協力研究科修士課程 2016年度前期(秋季)入試 2015年度後期科目等履修生・ プログラム履修生試験 12日(土) 臨床心理学領域修士課程 2016年度前期(秋季)二次入試 19日(土) 学位授与式/ 入学式・オリエンテーション
10月	1日(木) 追悼記念日礼拝 17日(土) 入試説明・相談会
11月	6日(金) 学院創立記念日 28日(土) 入試説明・相談会
1月	30日(土) 人間科学領域・幼児教育コース 修士課程 2016年度前期(春季)入試 臨床心理学領域修士課程・ 人間科学博士後期課程 2016年度前期(春季)一次入試
2月	6日(土) 臨床心理学領域修士課程・ 人間科学博士後期課程 2016年度前期(春季)二次入試 国際協力研究科 2016年度前期(春季)入試 27日(土) 2016年度前期科目等履修生・ プログラム履修生試験
3月	19日(土) 学位授与式

大学	
4月	2日(木) 入学式 1日(水)~7日(火) 学内オリエンテーション 25日(土) プレイデー
5月	22日(金)~23日(土) 1年生オリエンテーション合宿 〔千葉県南房総市富浦〕
6月	13日(土) 東京女子大学スポーツ交流会(予定) 21日(日) オープンキャンパス
7月	19日(日) オープンキャンパス
8月	1日(土) オープンキャンパス 16日(日) オープンキャンパス 30日(日) オープンキャンパス
9月	13日(日) オープンキャンパス
10月	1日(木) 追悼記念日礼拝 25日(日) 公募制推薦入試 同窓生子女枠特別推薦入試 一般・社会人編入試、社会人入試
11月	2日(月)、3日(火・祝) かえで祭(進学相談会) 6日(金) 学院創立記念日 14日(土) 指定校推薦・院内推薦入試(1期) * チャペルコンサート * 収穫祭 23日(月・祝) 入試対策講座 25日(水) アドヴェント点灯式
12月	* 清楓会クリスマスパーティー 14日(月) クリスマス礼拝 19日(土) スカラシップ特別入試
1月	9日(土) 院内推薦入試(2期) 外国人留学生入試 16日(土)、17日(日) 大学入試センター試験 31日(日) 一般入試
2月	25日(木) 一般入試(後期)
3月	7日(月) 卒業チャペル・コンサート 10日(木) 卒業式 21日(月・祝) オープンキャンパス(春キャン)

中高部	
4月	7日(火) 中学部入学式 8日(水) 中学部始業式 高等部入学式・始業式 10日(金) 健康診断Ⅰ(中1・高1) 23日(木) 健康診断Ⅱ(全学年) 25日(土) 授業公開日・母の会総会
5月	11日(月)~13日(水) 高3修養会(天城) 11日(月)~15日(金) 高2修学旅行(阿蘇・雲仙・長崎) 12日(火) 中2~高1学年行事 12日(火)~14日(木) 中1オリエンテーション(清里)
6月	4日(木)~9日(火) I学期中間試験 9日(火) 中学部鑑賞行事、花の日礼拝・訪問 18日(木)、19日(金) 高1カンファレンス(御殿場) 27日(土) オープンスクール 30日(火) 合唱コンクール(中学部) 球技会(高等部)
7月	17日(金)~8月5日(水) カナダ語学研修 18日(土)~20日(月・祝) オープニングキャンプ(野尻) 24日(金)~31日(金) 中2夏期学校前後期(野尻)
8月	1日(土)~8月6日(木) キャンプ(野尻) 3日(月)~5日(水) 夏期修養会(軽井沢追分) 6日(木)~8日(土) 訓練キャンプ(野尻)
9月	5日(土) 学校説明会 14日(月)~18日(金) I学期期末試験
10月	1日(木) 追悼記念日礼拝 2日(金) II学期始業礼拝 10日(土) 体育祭 23日(金)、24日(土) 楓祭
11月	2日(月)~6日(金) 創立記念特別週間 6日(金) 学院創立記念日 学院創立記念日礼拝 7日(土) 学校説明会 9日(月)~13日(金) 授業公開週間・美術展 20日(金) 球技会(中学部) 28日(土) 入試問題説明会
12月	2日(水)~8日(火) II学期中間試験/高3期末試験 8日(火) 中学部鑑賞行事 12日(土) クリスマス音楽会 18日(金) クリスマス礼拝 26日(土) ミニ学校説明会
2月	1日(月) 入学試験A日程 3日(水) 入学試験B日程
3月	1日(火)~7日(月) II学期期末試験 8日(火)、9日(水) 英和茶会 15日(火) 中学部卒業式・修業式 高等部修業式 16日(水) 高等部卒業礼拝 17日(木) 高等部卒業式 21日(月)~4月4日(月) アメリカ語学研修 21日(月)~24日(木) スキー教室(志賀高原) 21日(月)~24日(木) 聖書科学習旅行(沖縄)

全学院	
4月	1日(水) 新任者辞令交付式 10日(金) 全学院新年度礼拝・歓迎会
6月	12日(金) 後援会・母の会・学院三者懇談会
7月	3日(金) 後援会常任役員会/役員会/総会 11日(土) 三英和懇談会〔於:東洋英和女学院〕
10月	1日(木) 追悼記念日礼拝 9日(金) 後援会役員懇談会
11月	6日(金) 学院創立記念日 永年勤続者表彰 シンポジウム 10日(火) カナダ宣教師墓前礼拝 14日(土) 楓の会秋の芸術公演・役員総会 21日(土) ハンドベルフェスティバル
12月	4日(金) 全学院クリスマス礼拝
3月	4日(金) 後援会・母の会・学院三者懇談会 25日(金) 退職者辞令交付式・送別会



「土星の輪の傾き図」

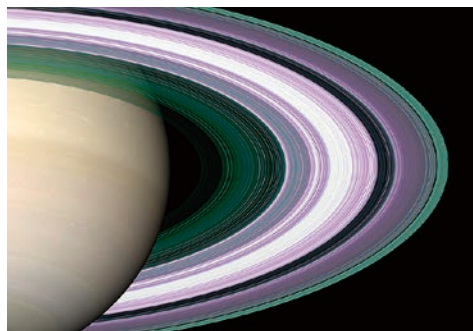
地球から見える土星の様子。土星は約30年かけて太陽をひとまわりします

## 土星

天体観望会でいちばんの人気者と言っているのは「土星」です。私も初めて望遠鏡で土星の環を見たときの感動は忘れられません。この土星の環を人類で初めて見たのは、あのガリレオ・ガリレイです。ただ、当時の望遠鏡は性能が悪く、ガリレオは「環」であるとは認識できませんでした。「土星には耳がある」と言ったのだそうです。

この土星の環は板のようなものではなく、細かい破片の集まりです。大きさは砂粒程度のものから、家くらいのものまでさまざまです。成因ははっきりとは分かっていませんが、一つの説に「土星の近くを通った彗星や小惑星の破片（氷や塵）が土星の重力に捕らわれて、土星のまわりを回り始めた」というものがあります。

二〇〇九年に「土星の環の消失」という天文現象がありました。土星の環が溶けてなくなってしまうのではありません。地球から見ることができなくなっただけです。土星の環は実はとても薄いものなのです。土星本体を直径の一五メートル、中規模のプラネタリウムのドーム



「構成する粒子の径に応じて彩色した土星の画像」

土星の回りを大小さまざまな粒子が線状に回っているのが分かる。

©NASA/JPL

ムくらいの大きさに縮めて例えたら、環は1mmの百分の一よりさらに薄くなってしまいます。環は地球との位置関係で傾きが年々変化して見え、その中には真横から環を見ることがなる状況も出てきます。そうなるどころに大きな望遠鏡を使っても地球から土星の環を見ることができなくなってしまいます。約一五年ごとに生じる環の消滅は、興味深いものの、土星らしい特徴がない、ちよつと寂しい姿の土星になります。現在はだんだん環の傾きが大きくなってきています。二〇一七年に環の傾きはいちばん大きくなり、その後は二〇二五年の環の消失に向けて、再び細くなっていきます。

今年の夏休みは、土星は夜の早い時間に見えていますので、天体観望会を行っていただける施設などに出かけて、是非、望遠鏡でご覧になってみてはいかがでしょうか。

## お知らせ

### 楓の会主催

### 秋の芸術公演(チャリティーコンサート)のご案内

日時：11月14日(土) 14:00開演  
(13:30受付開始)

場所：中高部  
新マーガレット・クレイグ記念講堂

出演：ジェラルド・プーレ<ヴァイオリン>、  
川島余里<チェンバロ>、  
東京ハルモニア室内オーケストラ



ジェラルド・プーレ  
©Mamoru Matsui



東京ハルモニア室内オーケストラ

曲目：A. ヴィヴァルディ 合奏協奏曲「四季」作品 8、1〜4 他  
※曲目は変更する場合があります。

チケット：4000円 主催：東洋英和楓の会

協賛：東洋英和 福島の子ども支援プロジェクト

※お申し込みは楓の会会員に限ります。お申し込み方法は、9月発行のKAEDE MAGAZINEおよびホームページでご案内いたします。

東洋英和女学院 学院報 楓園 第77号

発行日：2015年5月15日  
編集：広報委員会  
発行：学校法人 東洋英和女学院  
東京都港区六本木 5-14-40 Tel：03-3583-3325  
メールアドレス：koho@toyoeiwa.ac.jp  
ホームページ：http://www.toyoeiwa.ac.jp

## 同窓会より

### ● 新入会員のご紹介

東光会(高等部同窓会) 185名/楓美会(大学同窓会) 536名/大学院同窓会 20名  
ご卒業おめでとうございます。同窓会ご入会を心より歓迎いたします。

### ● 同窓会総会のご案内

学院創立130周年、同窓会創立120周年の節目の年を喜びの内に祝い、新たなスタートに着いた東洋英和女学院です。今年の総会のご案内をいたします。KAEDE MAGAZINE 08号のEIWA Familyで同じルーツから誕生した静岡、山梨、そして東洋英和の三姉妹が紹介されたのをお読みになられたことと思います。今年はその三姉妹が集まってのひと時を計画しております。共に礼拝を守り、議事終了後の英和三姉妹のプログラムをお楽しみに、ぜひお出かけください。

### 同窓会総会実施要領

東洋英和女学院同窓会総会	日時：2015年6月6日(土) 13:10より
	会場：新マーガレット・クレイグ記念講堂(六本木校地)
各同窓会総会	礼拝：説教 網中彰子牧師(高等部1987年卒)
	総会議事：前年度活動報告・決算報告・監査報告 今年度活動予定・予算案・新役員人事承認
各同窓会総会	催事：静岡・山梨・東洋英和三姉妹集合 三校のルーツを語る：深町正信院長 「我が母校が一番！」各同窓生が語る
	お茶の会・ミニバザー(15時45分終了予定)
各同窓会総会	保育部会(短期大学保育科) 10:30 中高部小講堂
	かえで会(短期大学英文科) 10:30 中高部集会室
	楓美会(大学) 11:00 本部・大学院棟 大会議室(A)
	楓雅会(短期大学国際教養科) 11:00 本部・大学院棟 大会議室(B)
	大学院同窓会 11:30 本部・大学院棟 第2会議室
東光会(高等部) 12:00 中高部小講堂	